# ごみ焼却処理施設

### 受入・供給設備

#### ごみ計量機

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 ロードセル式（4点支持）、〔　　　　〕タイプ  (2)　数量 〔　　　　〕基（入口用〔　　　　〕基、出口用〔　　　　〕基）  (3)　主要項目  1)　最大秤量 30t  2)　最小目盛 10㎏  3)　積載台寸法 3.0m×8.0m（搬入出車両の最大寸法に適したものとする）  4)　表示方式 デジタル表示（重量・料金表示）  5)　操作方式 〔　　　　〕  6)　印字方式 自動  7)　データ管理出力項目 年月日時分、搬入者、搬出者、ごみ種別、ごみ重量、総重量、積載重量、  空車重量、車両通し番号、料金種別及び料金、カードナンバー、  その他必要なもの  8)　付属機器 データ処理装置、カードリーダ |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### プラットホーム出入口扉

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 スライドドア方式  (2)　数量 2基（入口1基、出口1基）  (3)　主要項目（1基につき）  1)　扉寸法 幅〔　　　　〕mm × 高さ〔　　　　〕mm  2)　材質 〔　　　　〕  3)　駆動方式 〔　　　　〕  4)　操作方式 〔　　　　〕  5)　車両検知方式 〔　　　　〕  6)　開閉時間 開10秒，閉10秒以内  7)　駆動装置 〔　　　　〕  8)　付属機器 エアカーテン |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### プラットホーム

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 屋内式  (2)　通行方法 一方通行式  (3)　数量 一式  (4)　構造 鉄筋コンクリート構造  (5)　主要項目  1)　幅員 有効15m以上  2)　高さ 7m以上（梁下有効高さ6.5m以上）  3)　床仕上げ 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### ごみ投入扉

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| 本扉は、プラットホームからごみピットへのごみ投入を制御するための扉として設ける。  (1)　形式 観音開き式  (2)　数量 7基以上（うち可搬式の展開検査用設備の設置を踏まえた仕様1基）  (3)　主要項目（1基につき）  1)　開閉時間 〔　　　　〕秒以内  2)　有効幅 〔　　　　〕m以上  3)　有効開口部高さ 〔　　　　〕m以上  4)　操作方式 自動・現場手動  5)　駆動方法 〔　　　　〕  6)　主要材質 〔　　　　〕  7)　付属品 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 展開検査用設備（可搬式）

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 1基以上  (3)　主要項目  1)　投入容量 〔　　　　〕  2)　主要寸法 〔　　　　〕  3)　操作方法 〔　　　　〕  4)　駆動方法 〔　　　　〕  5)　主要材質 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 市民搬入場

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 屋内式  (2)　通行方法 〔　　　　〕  (3)　数量 一式  (4)　構造 鉄筋コンクリート構造  (5)　主要項目  1)　幅員 有効〔　　　　〕m以上  2)　高さ 〔　　　　〕m以上（梁下有効高さ〔　　　　〕m以上）  3)　床仕上げ 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### ごみピット

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 水密性鉄筋コンクリート造  (2)　数量 1基  (3)　主要項目  1)　容量 約〔　　　　〕m3（施設規模の5日分以上）  2)　単位体積重量 0.3t/m3（ごみピット容量算定）  3)　寸法幅 幅〔　　　　〕m×奥行〔　　　　〕m×深さ〔　　　　〕m  4)　付属品 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### ごみクレーン

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 油圧バケット付天井走行クレーン  (2)　数量 クレーン本体2基、グラブバケット3基（うち1基予備）  (3)　主要項目（1基につき）  1)　吊上荷重 〔　　　　〕t  2)　定格荷重 〔　　　　〕t  3)　バケット形式 〔　　　　〕  4)　バケット切り取り容量 〔　　　　〕m3  5)　ごみの単位体積重量 定格荷重算出用 0.4t/m3  稼働率算出用 0.2t/m3  6)　揚程／巻上速度 〔　　　　〕m／〔　　　　〕m/sec  7)　横行距離／速度 〔　　　　〕m／〔　　　　〕m/sec  8)　走行距離／速度 〔　　　　〕m／〔　　　　〕m/sec  9)　電動機 出力〔　　　　〕kW、ED〔　　　　〕％、ブレーキ方式〔　　　　〕  10)　稼働率 〔　　　　〕％  11)　操作方式 遠隔手動、半自動または全自動  12)　給電方式 〔　　　　〕  13)　速度制御方式 〔　　　　〕  14)　バケット開閉方式／速度 〔　　　　〕／〔　　　　〕m/sec  15)　主要材質 〔　　　　〕  (4)　付属機器 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 放水銃装置

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 〔　　　　〕基（ごみピット内全域をカバーできる数量）  (3)　主要項目  1)　寸法 〔　　　　〕mm放水銃（ノズル〔　　　　〕mm）  2)　操作方法 手動及び自動 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### プラットホーム監視室

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 一式  (3)　主要項目 〔　　　　〕  (4)　付属機器 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 薬液噴霧装置

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 高圧噴霧式  (2)　数量 一式  (3)　主要項目  1)　噴霧場所 〔　　　　〕  2)　噴射ノズル  ①　構造 〔　　　　〕  ②　数量 〔　　　　〕  ③　主要材質 〔　　　　〕  3)　薬剤タンク  ①　構造 〔　　　　〕  ②　数量 〔　　　　〕  ③　主要材質 〔　　　　〕  4)　噴霧ポンプ  ①　構造 〔　　　　〕  ②　数量 〔　　　　〕  ③　主要材質 〔　　　　〕  5)　操作方式 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 可燃性粗大ごみ切断機

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 1基  (3)　主要項目  1)　処理対象物 たたみ、じゅうたん等  2)　処理能力 〔　　　　〕t/h  3)　投入口寸法 1,200mm×3,600mm×深さ1,000mm  4)　主要材質 〔　　　　〕  5)　駆動方式 〔　　　　〕  6)　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW  (4)　付属機器 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

### 燃焼設備

#### ごみ投入ホッパ

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 3基（1炉1基）  (3)　主要項目  1)　有効容量 〔　　　　〕m3  2)　主要材質 〔　　　　〕  3)　板厚 〔　　　　〕mm以上（滑り面〔　　　　〕mm以上）  4)　開口部寸法 幅〔　　　　〕×長さ〔　　　　〕m  5)　レベル検出方式 〔　　　　〕  6)　ブリッジ検出方式 〔　　　　〕  7)　ブリッジ除去装置 形式〔　　　　〕、駆動方式〔　　　　〕、操作方式〔　　　　〕  8)　開閉ゲート 形式〔　　　　〕、駆動方式〔　　　　〕、操作方式〔　　　　〕  9)　ホッパ冷却方式 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 給じん装置

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 3基（1炉1基）  (3)　主要項目（1基につき）  1)　構造 〔　　　　〕  2)　能力 〔　　　　〕kg/h以上  3)　寸法 幅〔　　　　〕m×長さ〔　　　　〕m  4)　主要部材 〔　　　　　〕  5)　駆動方式 〔　　　　　〕  6)　速度制御方式 〔　　　　　〕  7)　操作方式 〔　　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 燃焼装置

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 全連続燃焼式ストーカ炉（低空気比）  (2)　数量 3基（1炉1基）  (3)　主要項目（1基につき）  1)　能力 〔　　　　〕kg/h以上  2)　材質 〔　　　　〕  3)　寸法 幅〔　　　　〕m×長さ〔　　　　〕m  4)　火格子面積 〔　　　　〕m2  5)　傾斜角度 〔　　　　〕°  6)　火格子燃焼率 〔　　　　〕kg/m2・h  7)　駆動方式 〔　　　　〕  8)　速度制御方式 〔　　　　〕  9)　操作方式 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 燃焼装置駆動用油圧装置

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 油圧ユニット式  (2)　数量 3基（1炉1基）  (3)　主要項目（1ユニットにつき）  1)　油圧ポンプ 〔　　　　〕  　①　数量 2基（1ユニット内2基の交互運転）  　②　吐出量 〔　　　　〕m3/min  　③　全揚程 〔　　　　〕m  ④　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW  2)　油タンク  　①　数量 1基  　②　構 〔　　　　〕  　③　容量 〔　　　　〕  　④　主要部材 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 耐火物築炉

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　数量 3基（1炉1基）  (2)　主要項目（1基につき）  1)　構造 〔　　　　〕  2)　耐火物材質 〔　　　　〕（各種提示）  3)　燃焼室容積 〔　　　　〕m3  4)　再燃焼室容積 〔　　　　〕m3  5)　燃焼室熱負荷 〔　　　　〕kJ/m3・h以下（高質ごみ）  (3)　付属機器 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 炉体鉄骨・ケーシング

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 鉄骨支持自立耐震型  (2)　数量 3基（1炉1基）  (3)　材質  1)　鉄骨 〔　　　　〕  2)　ケーシング 〔　　　　〕  (4)　付属機器 覗窓、計測口、カメラ用監視窓、点検口等 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### ストーカ下シュート

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 3基（1炉1基）  (3)　主要項目  1)　材質 〔　　　　〕  2)　板厚 〔　　　　〕mm |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 焼却灰シュート

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 3基（1炉1基）  (3)　主要項目  1)　材質 〔　　　　〕  2)　板厚 〔　　　　〕mm |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 助燃装置

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 〔　　　　〕基  (3)　主要項目（1基につき）  1)　容量 〔　　　　〕L/h  2)　燃料 灯油（都市ガスの提案も可とする。）  3)　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW  4)　操作方式 着火（電気）：現場手動  (5)　付属機器 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）立上げ、立下げ時、排ガス異常時の助燃投入量（計画／実績） |
|  |
| 2）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

### 燃焼ガス冷却設備

#### 廃熱ボイラ

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 3基（1炉1基）  (3)　主要項目（1基につき）  1)　最高使用圧力 〔　　　　〕MPa  2)　常用圧力 〔　　　　〕MPa以上(ボイラドラム出口)  3)　蒸気温度 〔　　　　〕℃以上（過熱器出口）  4)　給水温度 〔　　　　〕℃（エコノマイザ入口）  〔　　　　〕℃（エコノマイザ出口）  5)　排ガス温度 〔　　　　〕℃（ボイラ入口）  〔　　　　〕℃（ボイラ出口）  6)　最大蒸気発生量 〔　　　　〕t/h  7)　伝熱面積及び缶水保有量  ①　放射伝熱面 〔　　　　〕m2 〔　　　　　〕m3  ②　接触伝熱面 〔　　　　〕m2 〔　　　　　〕m3  ③　過熱器 〔　　　　〕m2 〔　　　　　〕m3  ④　エコノマイザ 〔　　　　〕m2 〔　　　　　〕m3  8)　主要部材  ①　ボイラドラム 〔　　　　〕  ②　管 〔　　　　〕  ③　管寄せ 〔　　　　〕  9)　安全弁圧力 〔　　　　〕MPa（ボイラ）  〔　　　　〕MPa（過熱器） |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### エコノマイザ

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 3基（ボイラ1基につき1基）  (3)　主要項目（1基につき）  1)　容量 〔　　　　〕  2)　材質 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### ボイラ鉄骨及びケーシング

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 鉄骨支持自立耐震型  (2)　数量 3組（ボイラ1基につき1組）  (3)　主要項目  1)　主要材質  ①　鉄骨 〔　　　　〕  ②　ケーシング 〔　　　　〕（ボイラメンブレン構造）  ③　外装板 〔　　　　〕（デッキプレート等）  2)　板厚 〔　　　　〕mm以上  3)　外装板表面温度 〔　　　　〕℃以下 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### ボイラ下部ホッパシュート

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 3組（ボイラ1基につき1組）  (3)　主要項目  1)　材質  ①　鉄骨 〔　　　　〕  ②　ホッパシュート 〔　　　　〕  2)　板厚 〔　　　　〕mm以上  3)　表面温度 〔　　　　〕℃以下 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### スートブロワ

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 3炉分  (3)　主要項目（1炉分につき）  1)　常用圧力 〔　　　　〕MPa  2)　台数 〔　　　　〕台  3)　蒸気量 〔　　　　〕kg/min/台  4)　噴射管材質 〔　　　　〕  5)　駆動方式 〔　　　　〕  6)　操作方式 遠隔自動・手動、現場手動  (4)　付属機器 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 安全弁用消音器

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 3炉分  (3)　主要項目  1)　主要材質 〔　　　　〕  2)　消音能力 30dB（A特性）以上 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### ボイラ給水ポンプ

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 6基（ボイラ1基につき2基・交互運転）  (3)　主要項目（1基につき）  1)　容量 〔　　　　〕m3/h  2)　全揚程 〔　　　　〕m  3)　温度 〔　　　　〕℃  4)　主要部材  ①　ケーシング 〔　　　　〕  ②　インペラ 〔　　　　〕  ③　シャフト 〔　　　　〕  5)　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW  6)　操作方式 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 脱気器

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 〔　　　　〕基  (3)　主要項目  1)　常用圧力 〔　　　　〕MPa  2)　処理水温度 〔　　　　〕℃  3)　脱気能力 〔　　　　〕t/h  4)　残留酸素 〔　　　　〕mgO2/L以下  5)　貯水容量 〔　　　　　〕m3  6)　制御方式 圧力及び液面制御（流量調節弁制御）  (4)　主要部材 〔　　　　〕  (5)　付属機器 安全弁、安全弁用消音器 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 脱気器給水ポンプ

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 脱気器1基に対し2基（交互運転）  (3)　主要項目（1基につき）  1)　容量 〔　　　　　〕m3/h  2)　全揚程 〔　　　　　〕m  3)　温度 〔　　　　　〕℃  4)　主要部材  ①　ケーシング 〔　　　　〕  ②　インペラ 〔　　　　〕  ③　シャフト 〔　　　　〕  5)　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW  6)　操作方式 自動及び遠隔・現場手動 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 薬液注入装置

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　清缶剤注入装置  1)　数量 一式  2)　薬液貯槽  ①　数量 〔　　　　〕槽  ②　主要部材 〔　　　　〕  ③　容量 〔　　　　〕L（日平均使用量の7日分以上）  3)　注入ポンプ  ①　形式 〔　　　　〕  ②　数量 〔　　　　〕  ③　容量 〔　　　　〕L/h  ④　吐出圧 〔　　　　〕kPa  ⑤　操作方式 自動、遠隔・現場手動  (2)　脱酸剤注入装置  1)　数量 一式  2)　薬液貯槽  ①　数量 〔　　　　〕槽  ②　主要部材 〔　　　　〕  ③　容量 〔　　　　〕L（日平均使用量の7日分以上）  3)　注入ポンプ  ①　形式 〔　　　　〕  ②　数量 〔　　　　〕  ③　容量 〔　　　　〕L/h  ④　吐出圧 〔　　　　〕kPa  ⑤　操作方式 自動、遠隔・現場手動  (3)　ボイラ水管剤注入装置  1)　数量 一式  2)　薬液貯槽  ①　数量 〔　　　　〕槽  ②　主要部材 〔　　　　〕  ③　容量 〔　　　　〕L（日平均使用量の7日分以上）  3)　注入ポンプ  ①　形式 〔　　　　〕  ②　数量 〔　　　　〕  ③　容量 〔　　　　〕L/h  ④　吐出圧 〔　　　　〕kPa  ⑤　操作方式 自動、遠隔・現場手動 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### ブロー装置及び缶水連続測定装置

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　連続ブロー測定装置  1)　形式 ブロー量手動調節式  2)　数量 3缶分  3)　主要項目（1缶分）  ①　ブロー量 〔　　　　〕t/h  ②　ブロー量調整 現場手動式  4)　付属機器 〔　　　　〕  (2)　サンプリングクーラ  1)　形式 水冷却式  2)　数量 缶水用〔　　　　〕組、給水用〔　　　　〕組  3)　主要項目  ①　サンプル水入口温度 缶水用〔　　　　〕℃ 給水用〔　　　　〕℃  ②　サンプル水出口温度 缶水用〔　　　　〕℃ 給水用〔　　　　〕℃  ③　冷却水量 缶水用〔　　　　〕t/h 給水用〔　　　　〕t/h  (3)　ブロータンク  1)　形式 〔　　　　〕  2)　数量 3缶分  3)　主要項目  ①　構造 〔　　　　〕  ②　材質 〔　　　　〕  4)　主要機器 タンク本体、架台、液面計、温度計、圧力計、ブロー水冷却装置　等  (4)　水素イオン濃度計  1)　形式 〔　　　　〕  2)　数量 一式  (5)　導電率計  1)　形式 〔　　　　〕  2)　数量 一式  3)　指示範囲 〔　　　　〕～〔　　　　〕mS/m |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 高圧蒸気だめ

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 円筒横置型  (2)　数量 1基  (3)　主要項目  1)　蒸気圧力  ①　最大 〔　　　　〕MPa  ②　常用 〔　　　　〕MPa  2)　主要部板厚 〔　　　　〕mm  3)　主要部材 〔　　　　〕  4)　主要寸法 〔　　　　〕mmφ×〔　　　　〕mmL  5)　容量 〔　　　　〕m3 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 低圧蒸気だめ

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 円筒横置型  (2)　数量 1基  (3)　主要項目  1)　蒸気圧力  ①　最大 〔　　　　〕MPa  ②　常用 〔　　　　〕MPa  2)　主要部板厚 〔　　　　〕mm  3)　主要部材 〔　　　　〕  4)　主要寸法 〔　　　　〕mmφ×〔　　　　〕mmL  5)　容量 〔　　　　〕m3 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 低圧蒸気復水器

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 1系列  (3)　主要項目  1)　交換熱量 〔　　　　〕GJ/h  2)　処理蒸気量 〔　　　　〕t/h  3)　蒸気入口温度 〔　　　　〕℃  4)　蒸気入口圧力 〔　　　　〕MPa  5)　凝縮水出口温度 〔　　　　〕℃以下  6)　設計空気入口温度 35℃  7)　空気出口温度 〔　　　　〕℃  8)　主要寸法 幅〔　　　　〕m×長さ〔　　　　〕m  9)　制御方式 自動回転数制御、台数制御  10)　操作方式 自動、遠隔手動、現場手動  11)　材質  ①　伝熱管 〔　　　　〕  ②　フィン アルミニウム  12)　駆動方式 〔　　　　〕  13)　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW×〔　　　　〕台 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 排気復水タンク

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 1基  (3)　主要項目  1)　容量 〔　　　　〕  2)　主要部材 〔　　　　〕  3)　寸法幅 幅〔　　　　〕mm×奥行き〔　　　　〕mm×高さ〔　　　　〕mm  4)　設計圧力 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 排気復水移送ポンプ

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 2基（交互運転）  (3)　主要項目（1基につき）  1)　口径 〔　　　　〕mm  2)　吐出量 〔　　　　〕m3/h  3)　全揚程 〔　　　　〕m  4)　吸込圧力 〔　　　　〕kPa  5)　吐出圧力 〔　　　　〕kPa  (4)　操作方式 遠隔手動（自動起動）  (5)　主要部材  1)　ケーシング 〔　　　　〕  2)　インペラ 〔　　　　〕  3)　シャフト 〔　　　　〕  (6)　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 復水タンク

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 〔　　　　〕基  (3)　材質 〔　　　　〕  (4)　容量 〔　　　　〕m3 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 純水装置

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 〔　　　　〕  (3)　主要項目  1)　能力 〔　　　　〕  2)　処理水水質  ①　導電率 〔　　　　〕μS/cm以下（25℃）  ②　イオン状シリカ 〔　　　　〕mg/L以下（SiO2として）  3)　再生周期 20時間通水、4時間再生  4)　操作方式 自動、遠隔手動、現場手動  5)　原水 工業用水  (3)　主要機器  1)　イオン交換塔 一式  2)　イオン再生装置 一式  3)　塩素除去装置 一式  4)　加熱装置 一式 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 純水タンク

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 〔　　　　〕基  (3)　材質 〔　　　　〕  (4)　容量 〔　　　　〕m3 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 純水移送ポンプ

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 2基（交互運転）  (3)　主要項目（1基につき）  1)　口径 〔　　　　〕mm  2)　吐出量 〔　　　　〕m3/h  3)　全揚程 〔　　　　〕m  4)　流体 純水  5)　主要部材  ①　ケーシング 〔　　　　〕  ②　インペラ 〔　　　　〕  ③　シャフト 〔　　　　〕  (4)　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW  (5)　操作方式 自動・現場手動  (6)　制御方式 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### ボイラ用給水ポンプ

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)形式 〔　　　　〕  (2)数量 2基（交互運転）  (3)主要項目（1基につき）  1)　口径 〔　　　　〕mm  2)　吐出量 〔　　　　〕m3/h  3)　全揚程 〔　　　　〕m  4)　流体 工業用水  5)　主要部材  ①　ケーシング 〔　　　　〕  ②　インペラ 〔　　　　〕  ③　シャフト 〔　　　　〕  6)　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW  7)　操作方式 自動・現場手動  8)　制御方式 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

### 排ガス処理設備

#### 減温塔

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 水噴霧式  (2)　数量 3基（1炉1基）  (3)　主要項目（1基につき）  1)　本体寸法 〔　　　　〕  2)　有効容積 〔　　　　〕m3  3)　蒸発熱負荷 〔　　　　〕kJ/m3･h  4)　出口ガス温度 〔　　　　〕℃  5)　滞留時間 〔　　　　〕sec  6)　主要部材 主要部：〔　　　　〕  接ガス部：〔　　　　〕  7)　付属品 〔　　　　〕  (4)　噴射ノズル  1)　形式 〔　　　　〕  2)　数量 〔　　　　〕本/基  3)　主要項目（1本につき）  ①　設定噴射量 Min〔　　　　〕m3/h　～　Max〔　　　　〕m3/h  ②　噴霧圧力 〔　　　　〕MPa  ③　主要部材 〔　　　　〕  (5)　減温水噴霧ポンプ  1)　形式 〔　　　　〕  2)　数量 〔　　　　〕基（交互運転）  3)　主要項目（1基につき）  ①　口径 Min〔　　　　〕m3/h　～　Max〔　　　　〕m3/h  ②　吐出量 〔　　　　〕m3/h  ③　吐出圧 〔　　　　〕MPa  ④　主要部材 〔　　　　〕  a)　ケーシング 〔　　　　〕  b)　インペラ 〔　　　　〕  c)　シャフト 〔　　　　〕  ⑤　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 集じん設備

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 ろ過式集じん器（バグフィルタ）  (2)　数量 3基（1炉1基）  (3)　主要項目（1基につき）  1)　設計ガス量 〔　　　　〕m3N/h（湿り）  2)　排ガス温度 〔　　　　〕℃  3)　設計通過ガス流速 〔　　　　〕m/min（Max）  4)　集じん面積 〔　　　　〕m2/本×〔　　　　〕本＝〔　　　　〕m2  5)　室区分数 〔　　　　〕室  6)　設計耐圧 〔　　　　〕Pa以下  7)　設計入口含じん量 〔　　　　〕g/m3N（乾きガス、酸素濃度12%換算）  8)　出口含じん量 0.02g/m3N以下（乾きガス、酸素濃度12%換算）  9)　ろ材寸法 〔　　　　〕mmφ×〔　　　　〕mmL  10)　逆洗方式 〔　　　　〕  11)　主要部材  ①　ろ布 〔　　　　〕  ②　リテーナ 〔　　　　〕  ③　本体 主要部：〔　　　　〕  接ガス部：〔　　　　〕  (4)付属機器 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 有害ガス除去設備（硫黄酸化物、塩化水素、ダイオキシン類、水銀）

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 硫黄酸化物、塩化水素除去：乾式法  ダイオキシン類、水銀除去：活性炭吹込み法  (2)　数量 3基（1炉1基）  (3)　主要項目  1)　設計ガス量 〔　　　　〕m3N/h（湿り）  2)　排ガス温度 入口〔　　　　〕℃　　出口〔　　　　〕℃  3)　硫黄酸化物濃度 入口〔　　　　〕ppm　　出口50ppm以下  （乾きガス、酸素濃度12%換算）  4)　塩化水素濃度 入口〔　　　　〕ppm　　出口30ppm以下  （乾きガス、酸素濃度12%換算）  5)　ダイオキシン類 入口〔　　　　〕ng-TEQ/m3N  出口0.1ng-TEQ/m3N以下  （乾きガス、酸素濃度12%換算） |

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| 6)　水銀濃度 入口〔　　　　〕μg/m3N　　出口30μg/m3N以下  （乾きガス、酸素濃度12%換算）  7)　使用薬剤 硫黄酸化物，塩化水素除去：高反応性消石灰  ダイオキシン類，水銀除去：粉末活性炭  8)　最大薬剤投入量 消石灰〔　　　　〕kg/h　活性炭〔　　　　〕kg/h  9)　最大設計当量比 消石灰〔　　　　〕  (4)消石灰貯槽  1)　形式 〔　　　　〕  2)　数量 1基  3)　有効貯留容量 〔　　　　〕m3（基準ごみ3炉運転時の平均使用量の7日間分以上）  4)　材質 〔　　　　〕  5)　主要寸法 〔　　　　〕  (5)活性炭貯槽  1)　形式 〔　　　　〕  2)　数量 1基  3)　有効貯留容量 〔　　　　〕m3（基準ごみ3炉運転時のの7日間分以上）  4)　材質 〔　　　　〕  5)　主要寸法 〔　　　　〕  (6)煙道吹込ノズル  1)　形式 〔　　　　〕  2)　数量 〔　　　　〕本  3)　材質 〔　　　　〕  4)　主要寸法 〔　　　　〕  5)　吹込流速 〔　　　　〕m/sec  6)　最大吹込量 〔　　　　〕kg/h  (7)薬剤輸送用送風機  1)　形式 〔　　　　〕  2)　数量 〔　　　　〕  3)　風量 〔　　　　〕m3/h  4)　圧力 〔　　　　〕kPa  5)　主要部材 〔　　　　〕  6)　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW  (8)薬剤定量供給機  1)　形式 〔　　　　〕  2)　数量 1基  3)　供給範囲 〔　　　　〕kg/h～〔　　　　〕kg/h  4)　操作方法 現場・遠隔手動・自動  5)　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW  6)　材質 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）排ガス処理性能の向上方策、薬剤、副資材使用量及び使用量最適化方策 |
|  |
| 2）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 脱硝設備

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)形式 無触媒脱硝方式  (2)数量 3基（1炉1基）  (3)薬剤有効貯留容量 〔　　　　〕m3（基準ごみ3炉運転時の平均使用量の7日間分以上）  (4)主要項目  1)　排ガス量（高質ごみ時） 〔　　　　〕m3N/h  2)　窒素酸化物濃度 入口〔　　　　〕ppm  出口90ppm以下（総量規制基準以下）  （乾きガス、酸素濃度12%換算） |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）排ガス処理性能の向上方策、薬剤、副資材使用量及び使用量最適化方策 |
|  |
| 2）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

### 通風設備

#### 押込送風機（FDF）

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 3基（1炉1基）  (3)　主要部材 〔　　　　〕  (4)　主要項目（1基につき）  1)　風量 〔　　　　〕m3N/h  2)　風圧 〔　　　　〕kPa  3)　吹込流速 〔　　　　〕m/sec以上  4)　回転数 〔　　　　〕min-1  5)　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW  6)　風量制御方式 〔　　　　〕  7)　風量調整方式 〔　　　　〕  8)　付属品 温度計、点検口、ドレン抜き、ダンパ、吸気スクリーン |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 二次押込送風機（CDF）

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 3基（1炉1基）  (3)　主要部材 〔　　　　〕  (4)　主要項目（1基につき）  1)　風量 〔　　　　〕m3N/h  2)　風圧 〔　　　　〕kPa  3)　吹込流速 〔　　　　〕m/sec以上  4)　回転数 〔　　　　〕min-1  5)　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW  6)　風量制御方式 〔　　　　〕  7)　風量調整方式 〔　　　　〕  8)　付属品 温度計、点検口、ドレン抜き、ダンパ、吸気スクリーン |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 排ガス循環送風機

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 3基（1炉1基）  (3)　主要部材 〔　　　　〕  (4)　主要項目（1基につき）  1)　風量 〔　　　　〕m3N/h  2)　風圧 〔　　　　〕kPa  3)　吹込流速 〔　　　　〕m/sec以上  4)　回転数 〔　　　　〕min-1  5)　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW  6)　風量制御方式 〔　　　　〕  7)　風量調整方式 〔　　　　〕  8)　付属品 温度計、点検口、ドレン抜き、ダンパ、吸気スクリーン |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 空気予熱器

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 3基（1炉1基）  (3)　主要項目（1基につき）  1)　入口空気温度 〔　　　　〕℃  2)　出口空気温度 〔　　　　〕℃  3)　容量 〔　　　　〕kJ/h（低質ごみ時）  4)　伝熱面積 〔　　　　〕m2  5)　総括伝熱係数 〔　　　　〕kJ/m2･h･℃  6)　高質ごみ時流速 〔　　　　〕m/sec  7)　設計空気量 〔　　　　〕m3N/h（低質ごみ時）  8)　材質・口径・板厚 〔　　　　〕  9)　蒸気消費量 〔　　　　〕kg/h（低質ごみ時）  10)　付属品 マンホール　他 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 通風ダクト（風道）

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)構造 鋼板溶接構造  (2)数量 3炉分  (3)主要項目  1)　空気流速 12m/sec以下  2)　主要部材 〔　　　　〕　厚さ〔　　　　〕mm以上  3)　付属品 ダンパ、圧力計、温度計、スクリーン、点検口、ドレン抜　他 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 排ガスダクト（煙道）

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)形式 鋼板溶接構造  (2)数量 3炉分  (3)主要項目  1)　ガス流速 15m/sec以下  2)　主要部材 〔　　　　〕　厚さ〔　　　　〕mm以上  3)　付属品 ダンパ、圧力計、保温、温度計、点検口、耐火物 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 誘引送風機

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 3基（1炉1基）  (3)　主要項目（1基につき）  1)　容量 〔　　　　〕m3N/h  2)　風圧 〔　　　　〕kPa  3)　回転数 〔　　　　〕min-1  4)　設計温度 〔　　　　〕℃  5)　始動方式 〔　　　　〕  6)　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW  7)　主要部材  ①　シャフト 〔　　　　〕  ②　ケーシング 〔　　　　〕  ③　インペラ 〔　　　　〕  8)　操作方式 自動及び遠隔・現場手動（風量制御）  9)　風量制御方式 自動炉内圧調整  10)　風量調整方式 〔　　　　〕  11)　付属品 マンホール、温度計、ドレン抜、他 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 煙突

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 建物一体型又は独立型  (2)　数量 外筒：1基　　内筒：3基  (3)　主要項目  1)　高さ 計画地盤高＋90m  2)　頂部口径 〔　　　　〕mmφ  3)　最大放出流速 27.5m/sec  4)　外壁寸法 上部：〔　　　〕　　下部：〔　　　〕  5)　内筒材質 〔　　　　〕  6)　外板材質 〔　　　　〕  7)　頂部ノズル材質 〔　　　　〕  8)　頂部ガス温度 160℃以上  9)　付属品 マンホール、測定孔、作業床、避雷設備、階段、荷上機 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

### 灰出設備

#### 焼却灰冷却装置

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 3基（1炉1基）  (3)　主要項目（1基につき）  1)　運搬物 焼却灰  2)　能力 〔　　　　〕t/h  3)　単位体積重量 〔　　　　〕t/m3  4)　駆動方式 油圧  5)　主要部材 〔　　　　〕  6)　トラフ寸法 幅〔　　　　〕mm×長さ〔　　　　〕mm  7)　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW  8)　付属品 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 落じんコンベヤ

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 3基（1炉1基）  (3)　主要項目（1基につき）  1)　能力 〔　　　　〕t/h  2)　主要寸法 幅〔　　　　〕mm×長さ〔　　　　〕mm  3)　主要部材 〔　　　　〕  4)　駆動方式 〔　　　　〕  5)　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 灰搬出装置

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 3基（1炉1基）  (3)　主要項目（1基につき）  1)　能力 〔　　　　〕t/h  2)　主要寸法 〔　　　　〕mm×〔　　　　〕mm  3)　主要部材 〔　　　　〕  4)　駆動方式 〔　　　　〕  5)　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 灰ピット

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 水密性鉄筋コンクリート造  (2)　数量 一式  (3)　主要項目  1)　容量 〔　　　　〕m3（基準ごみ3炉運転時の平均灰排出量の7日分以上）  2)　主要寸法 幅〔　　　　〕m×奥行〔　　　　〕m×深さ〔　　　　〕m  3)　付属品 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 灰汚水槽

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 1基  (3)　主要項目  1)　容量 〔　　　　　〕m3（全炉運転時日平均灰汚水排水量の7日分以上）  2)　主要寸法 幅〔　　　　〕mm×奥行〔　　　　〕mm×深さ〔　　　　〕mm  3)　材質 〔　　　　〕  4)　付属品 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 灰クレーン

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 油圧バケット付天井走行クレーン  (2)　数量 クレーン本体1基、グラブバケット2基（うち1基予備）  (3)　主要項目（1基につき）  1)　吊上荷重 〔　　　　〕t  2)　定格荷重 〔　　　　〕t  3)　バケット形式 〔　　　　〕  4)　バケット切り取り容量 〔　　　　〕m3  5)　灰の単位体積重量 〔　　　　〕t/m3  6)　揚程／巻上速度 〔　　　　〕m／〔　　　　〕m/sec  7)　横行距離／速度 〔　　　　〕m／〔　　　　〕m/sec  8)　走行距離／速度 〔　　　　〕m／〔　　　　〕m/sec  9)　電動機 出力〔　　　　〕kW、ED〔　　　　〕％、ブレーキ方式〔　　　　〕  10)　稼働率 〔　　　　〕％  11)　操作方式 遠隔手動、半自動または全自動  12)　給電方式 〔　　　　〕  13)　速度制御方式 〔　　　　〕  14)　バケット開閉方式／速度 〔　　　　〕／〔　　　　〕m/sec  15)　主要材質 〔　　　　〕  (4)　付属機器 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 飛灰搬送装置

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 〔　　　　〕基  (3)　主要項目（1基あたり）  1)　能力 〔　　　　〕t/h  2)　寸法 〔　　　　〕  3)　主要材質 〔　　　　〕  4)　付属品 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 飛灰処理設備

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　飛灰貯槽  1)　形式 〔　　　　〕  2)　数量 一式  3)　有効容量 〔　　　　〕m3（基準ごみ3炉運転時の平均発生量の7日分以上）  4)　主要項目  ①　主要寸法 〔　　　　〕mm  ②　主要部材 〔　　　　〕  ③　主要機器 レベル計、切出装置、ブリッジ防止装置、バグフィルタ、解砕機  (2)　定量供給機  1)　形式 〔　　　　〕  2)　数量 〔　　　　〕基  3)　主要項目（1基につき）  ①　能力 〔　　　　〕t/h  ②　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW  (3)　混練機  1)　形式 〔　　　　〕  2)　数量 2基（交互運転）  3)　主要項目（1基につき）  ①　能力 〔　　　　〕t/h  ②　処理物形状 〔　　　　〕  ③　主要部材 〔　　　　〕  ④　駆動方式 〔　　　　〕  ⑤　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW  ⑥　操作方式 〔　　　　〕  (4)　キレート剤添加装置  1)　形式 〔　　　　〕  2)　数量 〔　　　　〕基  3)　貯留タンク有効容量 〔　　　　〕m3（基準ごみ3炉運転時の平均発生量の7日分以上）  4)　主要機器 〔　　　　〕  (5)処理物搬送コンベヤ  1)　形式 〔　　　　〕  2)　数量 〔　　　　〕基  3)　主要項目（1基につき）  ①　能力 〔　　　　〕t/h  ②　主要寸法 幅〔　　　　〕mm×長さ〔　　　　〕mm  ③　養生時間 30min以上  4)　主要部材 〔　　　　〕  5)　搬送速度 〔　　　　〕m/sec ～ 〔　　　　〕m/sec  6)　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 飛灰処理物貯留ピット

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| 灰ピットに準ずること。 |

#### 油圧装置

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 油圧ユニット式  (2)　数量 〔　　　　〕  (3)　主要項目  1)　油タンク 〔　　　　〕L  2)　油圧ポンプ 〔　　　　〕L/min 〔　　　　〕MPa  3)　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW  (4)　主要機器  1)　油圧ポンプ 2台（交互運転）  2)　油タンク及び本体 1基  3)　油圧配管及び弁類 一式  4)　電磁切替弁 一式  5)　圧力計 一式  6)　油温度計 一式  7)　ストレーナ 一式  8)　その他必要なもの 一式 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

### 給水設備

#### 給水計画

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| 単位：m3/日   |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | | 用　途 | 工業用水 | 上水 | 再利用水 | 排水発生量 | 排水送付先 | | 機器冷却水 |  |  | － |  | 冷却塔 | | 洗車用水 |  |  |  |  | 有機系排水処理 | | プラットホーム  床洗浄用水 |  |  |  |  | | ボイラ用水処理装置 |  |  | － |  | 無機系排水処理（廃液） | | 減温塔用 |  |  |  | － | 無機系排水処理 | | 飛灰処理用水 |  |  |  | － | 無機系排水処理 | | 灰冷却用水 |  |  |  |  | 無機系排水処理 | | 薬品用希釈水 |  |  | － | － | － | | 消火設備用水 |  |  | － | － | － | | 生活用水 |  |  | － |  | 公共用水域 | | 計 |  |  |  |  |  | |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 水槽類仕様

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 名　　称 | 数量 | 容量（m3） | 備　　考（付属品等） | | プラント用水受水槽 | 1基 |  |  | | プラント用水高置水槽 | 1基 |  |  | | ボイラ用水受水槽 | 1基 |  |  | | ボイラ用水高置水槽 | 1基 |  |  | | 生活用水受水槽 | 1基 |  |  | | 生活用水高置水槽 | 1基 |  |  | | 機器冷却水受水槽 | 1基 |  |  | | 機器冷却水高置水槽 | 1基 |  |  | | 機器冷却水冷却塔 | 1基 |  |  | | 再利用水槽 | 1基 |  |  | | 再利用水高置水槽 | 1基 |  |  | | 消火水槽 | 必要数 |  |  | |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### ポンプ類

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | | 名　称 | | 形式 | 数量(基) | 吐出量(m3/h)  ×  全揚程(m) | 主要材質 | | | 電動機  (kW) | 操作方式 | 備考  付属品 | | ケーシング | インペラ | シャフト | | 生活 | 排水ポンプ |  |  |  |  |  |  |  |  |  | | 圧送ポンプ |  |  |  |  |  |  |  |  |  | | プラント | 揚水ポンプ |  |  |  |  |  |  |  |  |  | | 圧送ポンプ |  |  |  |  |  |  |  |  |  | | 機器冷却水  揚水ポンプ |  |  |  |  |  |  |  |  |  | | 再利用水揚水ポンプ |  |  |  |  |  |  |  |  |  | | 消火栓ポンプ |  |  |  |  |  |  |  |  |  | | その他必要なもの |  |  |  |  |  |  |  |  |  | |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 機器冷却水冷却塔

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 〔　　　　〕基  (3)　主要項目（1基につき）  1)　循環水量 〔　　　　〕m3/h  2)　主要寸法 〔　　　　〕mm×〔　　　　〕mm  3)　冷却水温度 入口：〔　　　　〕℃　　出口：〔　　　　〕℃  4)　設計外気温度 乾球温度：〔　　　　〕℃　　湿球温度：〔　　　　〕℃  (4)　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW  (5)　主要部材 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

### 排水処理設備

#### 排水量

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　プラント系排水  1)　ごみ焼却処理施設 低質ごみ時〔　　　　〕m3/24h  基準ごみ時〔　　　　〕m3/24h  高質ごみ時〔　　　　〕m3/24h  2)　不燃・粗大ごみ処理施設 〔　　　　〕m3/24h  (2)　ごみピット汚水  1)　ごみ焼却処理施設 低質ごみ時〔　　　　〕m3/24h  基準ごみ時〔　　　　〕m3/24h  高質ごみ時〔　　　　〕m3/24h  2)　不燃・粗大ごみ処理施設 〔　　　　〕m3/24h  (3)　生活系排水  1)　ごみ焼却処理施設 〔　　　　〕m3/24h  2)　不燃・粗大ごみ処理施設 〔　　　　〕m3/24h  3)　管理棟 〔　　　　〕m3/24h |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### ごみピット汚水処理設備

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　汚水貯留槽  1)　構造 水密性鉄筋コンクリート造  2)　数量 1基  3)　主要項目  ①　有効容量 〔　　　　　〕m3  ②　主要寸法 幅〔　　　　〕m×奥行〔　　　　〕m×深さ〔　　　　〕m  ③　材質 〔　　　　〕  ④　付属品 〔　　　　〕  (2)　汚水移送ポンプ  1)　形式 水中汚物ポンプ  2)　数量 2基（交互運転）  3)　主要項目（1基につき）  ①　口径 〔　　　　〕mm  ②　吐出量 〔　　　　〕m3/h  ③　全揚程 〔　　　　〕m  ④　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW  ⑤　主要部材 〔　　　　〕  ⑥　付属品 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 生活排水処理設備

|  |
| --- |
| **＜要求水準書：施設性能基準＞** |
| * 生活排水は、合併処理浄化槽で処理するものとし、建築基準法第31条第2項及び第32条に準拠して設置すること。 * 合併処理浄化槽は、管理棟（170人程度）及び工場棟分を処理できる容量を確保すること。管理棟から合併処理浄化槽への移送は自然流下式とすること。 * 浄化槽の処理水を雨水排水に合流させる場合は、雨水管路の最下流端に臭気止めのトラップを設けること。 |
| ＜設計仕様＞ |
|  |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### プラント排水処理設備

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　水槽類リスト   | 名　称 | | | 数量 | 容量 | 構造・材質 | 寸法 | 電動機 | 備考 | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | | 有機系 | 汚水受槽 | |  |  |  |  |  | 散気装置 | | 計量槽 | |  |  |  |  |  | 流量調整ﾊﾝﾄﾞﾙ | | 接触酸化槽 | |  |  |  |  |  | 散気装置 | | 沈殿槽 | |  |  |  |  |  |  | | 受入調整槽 | | |  |  |  |  |  |  | | ボイラ排水槽 | | |  |  |  |  |  |  | | 中和槽 | | |  |  |  |  |  | 攪拌機 | | 薬品混合槽 | | |  |  |  |  |  |  | | 凝集沈殿槽 | | |  |  |  |  |  |  | | ろ過中間槽 | | |  |  |  |  |  |  | | 処理水槽 | | |  |  |  |  |  |  | | 汚泥濃縮槽 | | |  |  |  |  |  |  | | 砂ろ過槽 | | |  |  |  |  |  |  | | 再利用水槽 | | |  |  |  |  |  |  | | 汚泥槽 | | |  |  |  |  |  |  | | その他必要な槽類 | | |  |  |  |  |  |  | | 薬品  タンク | | 凝集剤 |  |  |  |  |  |  | | pH調整剤 |  |  |  |  |  |  | | 助剤 |  |  |  |  |  |  | | 苛性ソーダ |  |  |  |  |  |  | | 塩酸 |  |  |  |  |  |  |   (2)　ポンプ類   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | | 名　称 | 形式 | 数量(基) | 吐出量(m3/h)×全揚程(m) | 主要材質 | | | 電動機  (kW) | 操作方式 | 備考  付属品 | | ケーシング | インペラ | シャフト | | 原水ポンプ |  |  |  |  |  |  |  |  |  | | ろ液噴霧ポンプ |  |  |  |  |  |  |  |  |  | | 排水ポンプ |  |  |  |  |  |  |  |  |  | | 汚泥引抜きポンプ |  |  |  |  |  |  |  |  |  | | ごみピット汚水  移送ポンプ |  |  |  |  |  |  |  |  |  | | 薬品移送ポンプ |  |  |  |  |  |  |  |  |  | | その他必要なもの |  |  |  |  |  |  |  |  |  | |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

### 電気設備

#### 特別高圧受電盤

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 一式  (3)　主要項目  1)　操作方式 遠方・現場操作  2)　収納機器  ①　真空遮断器又はガス遮断器 一式  ②　計器用変成器 一式  ③　断路器 一式（3極単投電動操作方式）  ④　避雷器 一式  ⑤　接地開閉器 一式  ⑥　電力会社支給品 一式  ⑦　その他必要なもの |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 受電用特高変圧器盤

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 SF6ガス絶縁変圧器 又は 油入変圧器  (2)　数量 一式  (3)　主要項目  1)　定格容量 〔　　　　〕kVA  2)　1次電圧 66kV（タップ式）  3)　2次電圧 6.6kV  4)　結線 〔　　　　〕  5)　絶縁階級 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 高圧配電盤

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 鋼板製屋内自立閉鎖形、多段積  (2)　数量 一式  (3)　主要項目  1)　操作方式 遠方・現場操作  2)　収納機器  ①　断路器（3極単投、電動操作方式とする。ただし、避雷器用断路器は除く。） 一式  ②　真空遮断器（VCB） 一式  ③　保護継電器 一式  ④　計器用変流器 一式  ⑤　計測機器 一式  ⑥　その他必要なもの |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 進相コンデンサ盤

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 鋼板製屋内閉鎖垂直自立形  (2)　数量 一式  (3)　主要項目  1)　電気方式 6.6kV、3φ、3W、50Hz  2)　受電力率 95%以上  3)　収納機器（1ユニットにつき）  ①　限流ヒューズ 一式  ②　真空電磁接触器 一式  ③　計器用変流器 一式  ④　進相コンデンサ（放電抵抗、放電コイル付）　　　一式  ⑤　直列リアクトル 一式  ⑥　その他必要なもの |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 高圧変圧器

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　プラント動力用変圧器  1)　形式 モールド形  2)　電圧 6.6kV/400V級（3φ、3W）  3)　容量 〔　　　　〕kVA  4)　絶縁階級 〔　　　　〕種  (2)　建築動力用変圧器  1)　形式 モールド形  2)　電圧 6.6kV/210V（3φ、3W）  3)　容量 〔　　　　〕kVA  4)　絶縁階級 〔　　　　〕種  (3)　照明用変圧器  1)　形式 モールド形  2)　電圧 6.6kV/210-105V（1φ、3W）  3)　容量 〔　　　　〕kVA  4)　絶縁階級 〔　　　　〕種  (4)　非常用動力変圧器  1)　形式 モールド形  2)　電圧 6.6kV/400V級（3φ、3W）  3)　容量 〔　　　　〕kVA  4)　絶縁階級 〔　　　　〕種 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 電力監視盤

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 〔　　　　〕面  (3)　構成 〔　　　　〕  (4)　主要取付機器 〔　　　　〕  (5)　監視・操作項目 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 低圧配電設備

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)形式 鋼板製屋内閉鎖垂直自立形（JEM 1265CX形）  (2)数量 計〔　　　　〕面  1)　400V級用動力主幹盤 〔　　　　〕面  2)　210V用動力主幹盤 〔　　　　〕面  3)　照明用単相主幹盤 〔　　　　〕面  4)　非常用電源盤 〔　　　　〕面  5)　その他配電盤 〔　　　　〕面  6)　主要取付機器 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 低圧動力設備

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　低圧動力制御盤  1)　形式 鋼板製屋内閉鎖垂直自立形（JEM 1265CX形）又は  コントロールセンタ（JEM 1195）  2)　数量 計〔　　　　〕面  ①　炉用動力制御盤 〔　　　　〕面  ②　共通動力制御盤 〔　　　　〕面  ③　非常用動力制御盤 〔　　　　〕面  ④　その他必要なもの 〔　　　　〕面（盤毎に明記）  3)　収納機器 〔　　　　〕  (2)　現場制御盤  1)　形式 〔　　　　〕  2)　数量 〔　　　　〕面  3)　主要取付機器 〔　　　　〕  (3)　現場操作盤  1)　形式 〔　　　　〕  2)　数量 〔　　　　〕面  3)　主要取付機器 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 非常用電源設備

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　直流電源装置  1)　形式 鋼板製屋内自立形  2)　数量 〔　　　　〕面  3)　主要項目  ①　充電器形式 〔　　　　〕  ②　入力 AC　3φ　50Hz　〔　　　　〕V  ③　出力 DC〔　　　　〕V  4)　蓄電池  ①　形式 〔　　　　〕  ②　容量 〔　　　　〕AH  ③　数量 〔　　　　〕セル  ④　定格電圧 〔　　　　〕V  ⑤　放電電圧 〔　　　　〕V  ⑥　放電時間 〔　　　　〕min  (2)　交流無停電電源装置  1)　形式 無瞬断切替式  2)　数量 一式  3)　主要項目  ①　一次側電圧 AC〔　　　　〕V、DC〔　　　　〕V  ②　二次側電圧 AC〔　　　　〕V  ③　容量 〔　　　　〕kVA  ④　負荷 計算機（データロガ）、計器盤、計装設備、他  (3)　非常用発電機  1)　形式 〔　　　　〕  2)　数量 〔　　　　〕  3)　電圧 AC〔　　　　〕V、3φ、3W、50Hz  4)　主要項目  ①　発電機 〔　　　　〕  ②　容量 〔　　　　〕kVA  ③　電圧・周波数 〔　　　　〕V、50Hz  ④　力率 〔　　　　〕%  ⑤　回転数 〔　　　　〕min-1  ⑥　燃料 灯油（都市ガスの提案も可とする。）  ⑦　始動方式 〔　　　　〕  ⑧　付属機器 非常用発電機制御盤、サービスタンク　等 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

### 計装・自動制御設備

#### 計装機器

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　排ガス中各種濃度測定機器  1)　排ガス中ばいじん濃度計  ①　形式 〔　　　　〕  ②　数量 3基（1炉1基）  ③　測定範囲 〔　　　　〕  2)　排ガス中窒素酸化物濃度計  ①　形式 〔　　　　〕  ②　数量 3基（1炉1基）  ③　測定範囲 〔　　　　〕  3)　排ガス中硫黄酸化物濃度計  ①　形式 〔　　　　〕  ②　数量 3基（1炉1基）  ③　測定範囲 〔　　　　〕  4)　排ガス中塩化水素濃度計  ①　形式 〔　　　　〕  ②　数量 3基（1炉1基）  ③　測定範囲 〔　　　　〕  5)　排ガス中水銀濃度計  ①　形式 〔　　　　〕  ②　数量 3基（1炉1基）  ③　測定範囲 〔　　　　〕  6)　排ガス中一酸化炭素濃度計  ①　形式 〔　　　　〕  ②　数量 3基（1炉1基）  ③　測定範囲 〔　　　　〕  7)　排ガス中酸素濃度計  ①　形式 〔　　　　〕  ②　数量 3基（1炉1基）  ③　測定範囲 〔　　　　〕  8)　風向、風速計  ①　形式 〔　　　　〕  ②　数量 1基  ③　測定範囲 〔　　　　〕  9)　大気温・湿度計  ①　形式 〔　　　　〕  ②　数量 1基  ③　測定範囲 〔　　　　〕  10)　排ガス流量計  ①　形式 〔　　　　〕  ②　数量 3基（炉毎）  ③　測定範囲 〔　　　　〕 |

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (2)　ITV装置  1)　カメラ設置場所   | 記号 | 監視対象 | 台数 | 種別 | 雲台 | レンズ | ケース | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | | A | 炉内 | 3 | カラー | 電動 | 自動焦点 | 水冷 | | B | 煙突 | 1 | カラー | 電動 | ズーム | 全天候 | | C | プラットホーム | 2 | カラー | 電動 | ズーム | 防じん | | D | プラットホーム入口 | 1 | カラー | 電動 | 標準 | 全天候 | | E | ごみ投入ホッパ | 設備数 | カラー | 固定 | 標準 | 防じん | | F | ボイラドラム | 3 | カラー | 固定 | 標準 | 空冷 | | G | ごみピット | 2 | カラー | 電動 | ズーム | 防じん | | H | 灰ピット | 1 | カラー | 電動 | ズーム | 防じん | | I | 計量器近傍  （車両番号確認） | 3 | カラー | 固定  電動 | 広角  ズーム | 全天候 | | J | 飛灰処理室 | 1 | カラー | 固定 | 標準 | 防じん | | K | 灰搬出室 | 1 | カラー | 固定 | 標準 | 防じん | | L | タービン発電機室 | 1 | カラー | 電動 | 標準 | 防じん | | M | 構内道路 | 4 | カラー | 電動 | 広角 | 全天候 | | N | 搬送設備 | 設備数 | カラー | 電動 | 広角 | 防じん | | O | 洗車場 | 1 | カラー | 電動 | 広角 | 全天候 |   2)　モニタ設置場所   |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | | 設置場所 | 台数 | 種別 | 大きさ | 監視対象 | 備考 | | 中央制御室 | 3 | カラー | 〔　　　　　〕インチ | A | 専用 | | 1 | カラー | 〔　　　　　〕インチ | B | 専用 | | 3 | カラー | 〔　　　　　〕インチ | F | 専用 | | 1 | カラー | 〔　　　　　〕インチ | C、E、G | 切替 | | 1 | カラー | 〔　　　　　〕インチ | H、I、J、L、M | 切替 | | 1 | カラー | 〔　　　　　〕インチ | N、O | 切替 | | ごみクレーン操作室 | 2 | カラー | 〔　　　　　〕インチ | C、E、I、A | 切替 | | 灰クレーン操作室 | 1 | カラー | 〔　　　　　〕インチ | H、K | 切替 | | プラットホーム監視室 | 1 | カラー | 〔　　　　　〕インチ | D、G、I | 分割 | | 管理棟事務室 | 1 | カラー | 〔　　　　　〕インチ | A～O | 切替 | | 見学者関係部分 | 1 | カラー | 〔　　　　　〕インチ | A～L | 切替 | | 研修室 | 1 | カラー | プロジェクター投影 | A～L、N～O | 切替 |   (3)　計装用空気圧縮機（低騒音型）  1)　形式 〔　　　　〕  2)　数量 2基（交互運転）  3)　主要項目（1基につき）  ①　吐出量 〔　　　　〕m3/min  ②　吐出圧力 〔　　　　〕kPa  ③　空気槽容量 〔　　　　〕m3  ④　操作方式 自動、遠隔・現場手動  ⑤　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW  4)　付属品 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### システム構成

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　オペレータコンソール  1)　形式 〔　　　　〕  2)　数量 〔　　　　〕基  3)　主要項目 〔　　　　〕  ①　中央監視盤  a）　形式 〔　　　　〕  b）　数量 〔　　　　〕基  c）　特記事項 〔　　　　〕  ②　プロセス制御ステーション  a）　形式 〔　　　　〕  b）　数量 〔　　　　〕基  c）　特記事項 〔　　　　〕  ③　プリンタ  a）　帳票プリンタ形式 〔　　　　〕  b）　メッセージプリンタ形式 〔　　　　〕  c）　カラーハードコピー機形式 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

### 余熱利用設備

#### タービン発電設備

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 〔　　　　〕基  (3)　主要項目（1基につき）  1)　連続最大出力 〔　　　　〕kW（発電機端）  2)　発電機形式 〔　　　　〕  3)　発電機出力 〔　　　　〕kVA、〔　　　　〕kW  4)　力率 〔　　　　〕  5)　蒸気使用量 〔　　　　〕t/h（最大出力時）  6)　タービン回転数 〔　　　　〕min-1  7)　発電機回転数 〔　　　　〕min-1  8)　主塞止弁前蒸気圧力 〔　　　　〕MPa  9)　主塞止弁前蒸気温度 〔　　　　〕℃  10)　排気圧力 〔　　　　〕kPa  11)　運転方式 〔　　　　〕  12)　発電端効率 〔　　　　〕%  (4)　付属機器 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）エネルギー回収率の向上方策 |
|  |
| 2）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 熱利用設備（工場棟内用）

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 蒸気式又は電気式  (2)　数量 1基  (3)　熱量 〔　　　　〕kJ/h  (4)　給水温度 温水器出口60±3℃　給水温度5℃  (5)　設計耐熱温度 100℃以上  (6)　容量 〔　　　　〕  (7)　材質 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）エネルギー回収率の向上方策 |
|  |
| 2）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 熱利用設備（場外用）

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 1基  (3)　主要項目  1)　供給熱量 〔　　　　〕GJ/h（必要量）  〔　　　　〕GJ/h（設計最大）  2)　蒸気圧力（入口） 〔　　　　〕MPa（常用／最大）  3)　蒸気温度 〔　　　　〕℃（入口／出口）  4)　蒸気使用量 〔　　　　〕t/h（常用）  5)　伝熱面積 〔　　　　〕m2  6)　温水温度 〔　　　　〕℃  7)　温水供給量 〔　　　　〕t/h（循環量）  8)　主要部材質 〔　　　　〕（本体／伝熱管）  9)　供給熱量制御方式 〔　　　　〕  (4)　主要機器 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）エネルギー回収率の向上方策 |
|  |
| 2）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 予備ボイラ

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 小型貫流蒸気ボイラ  (2)　使用燃料 〔　　　　〕  (3)　容量 〔　　　　〕  (4)　構造 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）エネルギー回収率の向上方策 |
|  |
| 2）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

### 小動物火葬設備

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 〔　　　　〕基  (3)　主要項目  1)　能力 〔　　　　〕kg/h（1炉あたり）  （大気汚染防止法届出対象とならない設計とする）  2)　材質 〔　　　　〕  3)　炉床面積 引き出し台車式〔　　　　〕m2×〔　　　　〕台  4)　燃料 〔　　　　〕  5)　排風機後の排ガス量 〔　　　　〕m3N/h  (4)　主要機器 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

### 雑設備

#### 雑用空気圧縮機（低騒音型）

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 2基（交互運転）  (3)　主要項目（1基につき）  1)　吐出量 〔　　　　〕m3/min  2)　吐出圧力 〔　　　　〕kPa  3)　空気槽容量 〔　　　　〕m3  4)　操作方式 自動、遠隔・現場手動  5)　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW  6)　付属品 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 脱臭設備

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 〔　　　　〕基  (3)　主要項目  1)　処理風量 〔　　　　〕m3/min  2)　臭気濃度 〔　　　　〕以下（入口濃度〔　 　 〕以下の時）  3)　脱臭剤容量 〔　　　　〕m3  4)　操作方式 遠隔・現場手動  (4)　送風機要目  1)　処理風量 〔　　　　〕m3/min  2)　風圧 〔　　　　〕kPa  3)　回転数 〔　　　　〕min-1  4)　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 環境集じん器

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 パルスジェット式  (2)　数量 〔　　　　〕基  (3)　主要項目  1)　風量 〔　　　　〕m3/min  2)　真空度力 〔　　　　〕kPa  3)　配管箇所数 〔　　　　〕箇所  (4)　バグフィルタ  1)　設計ガス量 〔　　　　〕m3N/h（湿り）  2)　集じん面積 〔　　　〕m2/本×〔　　　　〕本＝〔　　　　〕m2  3)　出口含じん量 〔　　　　〕g/m3N  (5)　吸引ブロワ  1)　吸引量 〔　　　　〕m3N/h（湿り）  2)　吸引圧力 〔　　　　〕kPa  3)　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 説明用設備

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　説明用映写設備  1)　形式 電動大型スクリーン、プロジェクター  （高輝度タイプ）  2)　数量 一式  (2)　体験型学習設備  1)　形式 〔　　　　〕  2)　数量 一式  (3)　公害防止データ等表示設備  1)　形式 〔　　　　〕  2)　数量 〔　　　　〕基  (4)　説明用パンフレット及び説明用リーフレット  1)　形式 A4判カラー印刷  2)　数量  ①　一般用 5,000部  ②　子供用 10,000部  ③　外国人用 英語・中国語・韓国語を各1,000部  (5)構内説明板  1)　形式 〔　　　　〕  2)　数量 1基  3)　主要項目 〔　　　　〕  (6)その他説明用設備  1)　形式 〔　　　　〕  2)　数量 一式  3)　主要項目 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 工具・器具・備品

|  |
| --- |
| **＜要求水準書：施設性能基準＞** |
| * 保守管理、維持管理に必要なものを必要数量納入すること。 * ボイラの水質管理、その他の維持管理に必要な分析機器を納入すること。また、所要機材リスト及び仕様を提出すること。 |
| ＜設計仕様＞ |
|  |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### エアシャワー装置

|  |
| --- |
| **＜要求水準書：施設性能基準＞** |
| * 形式は、原則としてユニット型とし、ダイオキシン類管理区域と管理区域外諸室との間に必要数を設置すること。 * 既製市販品とすること。 * 設置においては、管理区域から通過型の配置計画を原則とすること。 * 回収した粉じんを二次飛散させることなく回収できるものとすること。 * 粉じん補集用フィルターの自動洗浄機能を持つものとすること。 * 「廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類ばく露防止対策について」（基発第401号の2、2001年4月25日）の主旨に沿う適合装置とすること。 * 足部に付着した粉じん等を除去できるマット等を付属品として納入すること。 |
| ＜設計仕様＞ |
|  |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 電気自動車急速充電設備

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 急速充電式  (2)　数量 2台  (3)　設置場所 〔　　　　〕  (4)　主要機器 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

# 不燃・粗大ごみ処理施設

### 受入・供給装置

#### ごみ計量機、プラットホーム出入口扉、プラットホーム

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| ごみ焼却処理施設所掌とし、共用とすること。 |

#### 不燃ごみ投入扉

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 観音開き式  (2)　数量 〔　　　　〕基  (3)　主要項目（1基につき）  1)　開閉時間 〔　　　　〕秒以内  2)　有効幅 〔　　　　〕m以上  3)　有効開口部高さ 〔　　　　〕m以上  4)　操作方式 自動・現場手動  5)　駆動方法 〔　　　　〕  6)　主要材質 〔　　　　〕  7)　付属品 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 不燃ごみ受入ヤード

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 屋内式ヤード  (2)　数量 一式  (3)　構造 プラットホームに準じる  (4)　面積 〔　　　　〕m2  (5)　貯留量 〔　　　　〕m3〔　　　　〕日分 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 不燃ごみ破袋機

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 〔　　　　〕基  (3)　主要項目  1)　能力 〔　　　　〕t/h  2)　主要寸法 幅〔　　　　〕m×長さ〔　　　　〕m  3)　破袋率 〔　　　　〕％（多重に袋を使用したものはこの限りでない。）  4)　除袋率 〔　　　　〕％（多重に袋を使用したものはこの限りでない。）  5)　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW  6)　操作方式 自動、遠隔・現場手動  7)　主要寸法 本体〔　　　　〕  主要部〔　　　　〕  (4)　付属品 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 不燃ごみ手選別コンベヤ

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 ベルトコンベヤ  (2)　数量 1基  (3)　主要項目  1)　能力 〔　　　　〕t/h  2)　主要寸法 幅〔　　　　〕m×奥行〔　　　　〕m×深さ〔　　　　〕m  3)　主要部材 〔　　　　〕  4)　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 不燃ごみ貯留設備

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 ピット方式又はヤード方式  (2)　数量 1基  (3)　主要項目  1)　容量 〔　　　　〕m3（施設規模の4日分以上）  2)　単位体積重量 0.15t/m3（不燃ごみピット容量算定）  3)　寸法幅 幅〔　　　　〕m×奥行〔　　　　〕m×深さ〔　　　　〕m  (4)付属品 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 不燃ごみクレーン

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 油圧バケット付天井走行クレーン  (2)　数量 クレーン本体1基、グラブバケット2基（うち1基予備）  (3)　主要項目（1基につき）  1)　吊上荷重 〔　　　　〕t  2)　定格荷重 〔　　　　〕t  3)　バケット形式 〔　　　　〕  4)　バケット切り取り容量 〔　　　　〕m3  5)　ごみの単位体積重量 定格荷重算出用 〔　　　　〕t/m3  稼働率算出用 〔　　　　〕t/m3  6)　揚程／巻上速度 〔　　　　〕m／〔　　　　〕m/sec  7)　横行距離／速度 〔　　　　〕m／〔　　　　〕m/sec  8)　走行距離／速度 〔　　　　〕m／〔　　　　〕m/sec  9)　電動機 出力〔　　　　〕kW、ED〔　　　　〕％、ブレーキ方式〔　　　　〕  10)　稼働率 〔　　　　〕％  11)　操作方式 遠隔手動、半自動または全自動  12)　給電方式 〔　　　　〕  13)　速度制御方式 〔　　　　〕  14)　バケット開閉方式／速度 〔　　　　〕／〔　　　　〕m/sec  15)　主要材質 〔　　　　〕  (4)　付属機器 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 粗大ごみ受入ヤード

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 屋内式ヤード  (2)　数量 一式  (3)　構造 プラットホームに準じる  (4)　面積 〔　　　　〕m2  (5)　貯留量 〔　　　　〕m3〔　　　　〕日分 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 不燃ごみ・粗大ごみ受入ホッパ

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 1基  (3)　主要項目  1)　有効容量 〔　　　　〕m3  2)　主要寸法 幅〔　　　　〕m×奥行〔　　　　〕m×深さ〔　　　　〕m  3)　材質及び板厚 本体〔　　　　〕、厚さ〔　　　　〕㎜  ライナー〔　　　　〕、厚さ〔　　　　〕㎜  4)　その他 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 不燃ごみ・粗大ごみ供給コンベヤ

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 1基  (3)　主要項目  1)　能力 〔　　　　〕t/h  2)　主要寸法 幅〔　　　　〕m×奥行〔　　　　〕m×深さ〔　　　　〕m  3)　主要部材 〔　　　　〕  4)　傾斜角 〔　　　　〕  5)　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

### 破砕・選別設備

#### 低速回転破砕機

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 1基  (3)　主要項目  1)　処理能力 〔　　　　〕t/h  2)　供給最大寸法 直径又は径〔　　　 　〕mm×長さ〔　　　〕mm  3)　回転数 〔　　　　〕min-1  4)　主要部材・軸径 〔　　　　〕  5)　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW  6)　主要材質 〔　　　　〕  7)　操作方式 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 一次破砕物供給コンベヤ

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 1基  (3)　主要項目  1)　能力 〔　　　　〕t/h  2)　主要寸法 幅〔　　　　〕m×奥行〔　　　　〕m×深さ〔　　　　〕m  3)　主要部材・板厚 〔　　　　〕  4)　傾斜角 〔　　　　〕  5)　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 高速回転破砕機

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 1基  (3)　主要項目  1)　処理能力 〔　　　　〕t/h　破砕粒度150mm以下  2)　投入口寸法 〔　　　　〕mm×〔　　　　〕mm  3)　ロータ径 径〔　　　　〕mm×幅〔　　　　〕mm  4)　回転数 〔　　　　〕min-1  5)　主要部材・軸径 〔　　　　〕  6)　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW  7)　駆動方式 〔　　　　〕  8)　操作方式 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 破砕機用油圧ユニット

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 油圧ユニット式  (2)　数量 1基  (3)　主要項目  1)　能力 〔　　　　〕m3/h  2)　使用圧力 〔　　　　〕kPa  3)　主要寸法 幅〔　　　　〕m×奥行〔　　　　〕m×深さ〔　　　　〕m  4)　操作方式 遠隔現場手動（現場優先）  5)　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW  6)　油圧タンク容量 〔 〕L |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 二次破砕物搬送コンベヤ

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 1基  (3)　主要項目  1)　能力 〔　　　　〕t/h  2)　主要寸法 幅〔　　　　〕m×奥行〔　　　　〕m×深さ〔　　　　〕m  3)　主要部材・板厚 〔　　　　〕  4)　傾斜角 〔　　　　〕  5)　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 磁力選別機

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 吊下ベルト方式  (2)　数量 〔　　　　〕基  (3)　主要項目  1)　処理能力 〔　　　　〕t/h  2)　ベルト速度 〔　　　　〕m/min  3)　ベルト寸法 幅〔　　　　〕mm×長さ〔　　　　〕mm  4)　磁力容量 〔　　　　〕ガウス～〔　　　　〕ガウス  5)　構造・材質 〔　　　　〕  6)　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW  7)　操作方式 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 磁力選別後残さ搬送コンベヤ

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 1基  (3)　主要項目  1)　能力 〔　　　　〕t/h  2)　主要寸法 幅〔　　　　〕m×奥行〔　　　　〕m×深さ〔　　　　〕m  3)　主要部材・板厚 〔　　　　〕  4)　傾斜角 〔　　　　〕  5)　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### アルミ選別機

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 永久磁石回転式  (2)　数量 〔　　　　〕基  (3)主要項目  1)　処理能力 〔　　　　〕t/h  2)　ベルト速度 〔　　　　〕m/min  3)　ベルト寸法 幅〔　　　　〕mm×長さ〔　　　　〕mm  4)　磁力容量 〔　　　　〕ガウス～〔　　　　〕ガウス  5)　構造・材質 〔　　　　〕  6)　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW  7)　操作方式 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### アルミ選別後残さ搬送コンベヤ

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 1基  (3)　主要項目  1)　能力 〔　　　　〕t/h  2)　主要寸法 幅〔　　　　〕m×奥行〔　　　　〕m×深さ〔　　　　〕m  3)　主要部材・板厚 〔　　　　〕  4)　傾斜角 〔　　　　〕  5)　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 粒度選別機

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 回転式選別機（トロンメル）  (2)　数量 〔　　　　〕基  (3)　主要項目  1)　処理能力 〔　　　　〕t/h  2)　篩眼開き・形状 〔　　　　〕  3)　篩面寸法 〔　　　　〕  4)　傾斜角度 〔　　　　〕  5)　回転数 〔　　　　〕  6)　構造・材質 〔　　　　〕  7)　駆動方式 〔　　　　〕  8)　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW  9)　操作方式 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

### 貯留・搬出設備

#### 鉄類搬送コンベヤ

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 1基  (3)　主要項目  1)　能力 〔　　　　〕t/h  2)　主要寸法 幅〔　　　　〕m×奥行〔　　　　〕m×深さ〔　　　　〕m  3)　主要部材・板厚 〔　　　　〕  4)　傾斜角 〔　　　　〕  5)　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### アルミ搬送コンベヤ

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 1基  (3)　主要項目  1)　能力 〔　　　　〕t/h  2)　主要寸法 幅〔　　　　〕m×奥行〔　　　　〕m×深さ〔　　　　〕m  3)　主要部材・板厚 〔　　　　〕  4)　傾斜角 〔　　　　〕  5)　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 選別後可燃物搬送コンベヤ

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 1基  (3)　主要項目  1)　能力 〔　　　　〕t/h  2)　主要寸法 幅〔　　　　〕m×奥行〔　　　　〕m×深さ〔　　　　〕m  3)　主要部材・板厚 〔　　　　〕  4)　傾斜角 〔　　　　〕  5)　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 不燃物搬送コンベヤ

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 1基  (3)　主要項目  1)　能力 〔　　　　〕t/h  2)　主要寸法 幅〔　　　　〕m×奥行〔　　　　〕m×深さ〔　　　　〕m  3)　主要部材・板厚 〔　　　　〕  4)　傾斜角 〔　　　　〕  5)　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 鉄貯留バンカ

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 鉄骨鋼板製  (2)　数量 1基（内部二分割式）  (3)　主要項目（1基につき）  1)　容量 〔　　　　〕　二分割の片側で10t車での搬出に適正な容量  2)　主要部材・板厚 〔　　　　〕　〔　　　　〕  3)　排出ゲート  ①　形式 〔　　　　〕  ②　操作方式 現場手動  (4)　主要機器（1基につき） 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### アルミ貯留バンカ

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 鉄骨鋼板製  (2)　数量 1基（内部二分割式）  (3)　主要項目（1基につき）  1)　容量 〔　　　　〕　二分割の片側で10t車での搬出に適正な容量  2)　主要部材・板厚 〔　　　　〕　〔　　　　〕  3)　排出ゲート  ①　形式 〔　　　　〕  ②　操作方式 現場手動  (4)　主要機器（1基につき） 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 不燃物貯留バンカ

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 鉄骨鋼板製  (2)　数量 1基（内部二分割式）  (3)　主要項目（1基につき）  1)　容量 〔　　　　〕　二分割の片側で10t車での搬出に適正な容量  2)　主要部材・板厚 〔　　　　〕　〔　　　　〕  3)　排出ゲート  ①　形式 〔　　　　〕  ②　操作方式 現場手動  (4)　主要機器（1基につき） 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 不適物（処理困難物）等一時貯留ヤード

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 屋内式ヤード  (2)　数量 一式  (3)　構造 プラットホームに準じる  (4)　単位体積重量 〔　　　　〕t/m3  (5)　面積 〔　　　　〕㎡  (6)　貯留量 〔　　　　〕m3〔　〕日分 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 不適物（スプリングマットレス、ソファー）等一時貯留ヤード

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 屋内式ヤード  (2)　数量 一式  (3)　構造 プラットホームに準じる  (4)　単位体積重量 〔　　　　〕t/m3  (5)　面積 〔　　　　〕㎡  (6)　貯留量 〔　　　　〕m3〔　〕日分 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

### 集じん・脱臭設備

#### 吸引排気集じん設備・脱臭設備

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　粗集じん器  1)　形式 サイクロン  2)　数量 1基  3)　主要項目  ①　処理風量 〔　　　　〕m3/min  ②　サイクロン径 径〔　　　　〕mm  ③　圧力損失 〔　　　　〕Pa  ④　粉じん排出方式 〔　　　　〕  (2)　ろ過式集じん器  1)　形式 バグフィルタ  2)　数量 1基  3)　主要項目  ①　処理能力 〔　　　　〕m3N/h  ②　集じん面積 〔　　　　〕m2/本×〔　　　　〕本＝〔　　　　〕m2  ③　構造・材質 〔　　　　〕  ④　逆洗方式 〔　　　　〕  (3)　送風機  1)　形式 〔　　　　〕  2)　数量 〔　　　　〕  3)　主要項目  ①　風量 〔　　　　〕m3N/h  ②　風圧 〔　　　　〕kPa  ③　回転数 〔　　　　〕min-1  ④　主要材質 〔　　　　〕  ⑤　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW  ⑥　操作方式 〔　　　　〕  (4)　吸気フード、ダクト  1)　形式 〔　　　　〕  2)　数量 一式  3)　主要項目 〔　　　　〕  (5)　脱臭設備  1)　形式 〔　　　　〕  2)　数量 1基  3)　主要項目  ①　処理能力 〔　　　　〕m3/min  ②　構造・材質 〔　　　　〕  ③　操作方式 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

### 給水設備、排水設備

#### 給水設備

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| ごみ焼却処理施設給水設備より給水を受けること。 |

#### 排水設備

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| ごみ焼却処理施設排水設備にて受入処理をすること。 |

### 電気設備

#### 受配変電盤設備

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　高圧配電盤（高圧負荷のない場合は、ごみ焼却処理施設側にて変圧し供給することも可能とする。）  1)　形式 鋼板製屋内閉鎖垂直自立形、多段積  2)　数量 〔　　　　〕面  3)　主要取付機器 〔　　　　〕  (2)　高圧変圧器（高圧仕様のない場合は、ごみ焼却処理施設側にて変圧し供給することも可能とする。）  1)　形式 〔　　　　〕  2)　電圧 〔　　　　〕kV/〔　　　　〕V（3φ、3W）  3)　容量 〔　　　　〕kVA  4)　絶縁階級 〔　　　　〕種 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 低圧配電設備

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)形式 鋼板製屋内閉鎖垂直自立形（JEM 1265CX形）  (2)数量 計〔　　　　〕面  1)　400V級用動力主幹盤 〔　　　　〕面  2)　210V用動力主幹盤 〔　　　　〕面  3)　照明用単相主幹盤 〔　　　　〕面  4)　その他配電盤 〔　　　　〕面  5)　主要取付機器 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 動力設備

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　低圧動力制御盤  1)　形式 鋼板製屋内閉鎖垂直自立形（JEM 1265CX形）又は  コントロールセンタ（JEM 1195）  2)　数量 計〔　　　　〕面  ①プラント動力制御盤 〔　　　　〕面  ②共通動力制御盤 〔　　　　〕面  ③非常用動力制御盤 〔　　　　〕面  ④その他必要なもの 〔　　　　〕面（盤毎に明記）  (2)　現場制御盤  1)　形式 〔　　　　〕  2)　数量 〔　　　　〕面  3)　主要取付機器 〔　　　　〕  (3)　現場操作盤  1)　形式 〔　　　　〕  2)　数量 〔　　　　〕面  3)　主要取付機器 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

### 計装・自動制御設備

#### 計装機器

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　ITV装置  1)　カメラ設置場所   | 記号 | 監視対象 | 台数 | 種別 | 雲台 | レンズ | ケース | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | | A | 破砕機供給コンベヤ | 2 | カラー | 電動 | 自動焦点 | 防水防じん | | B | 破砕機内部もしくは排出部 | 3 | カラー | 電動 | ズーム | 防じん | | C | 手選別コンベヤ | 2 | カラー | 電動 | 標準 | 防じん | | D | 振動コンベヤ | 1 | カラー | 固定 | 標準 | 空冷 | | E | 破砕後可燃物搬送コンベヤ | 1 | カラー | 固定 | ズーム | 防じん | | F | 各投入ホッパ | 設備数 | カラー | 電動 | ズーム | 防じん | | G | プラットホーム、 | 2 | カラー | 固定 | 標準 | 防じん | | H | 不燃ごみピット | 2 | カラー | 固定 | 標準 | 防じん |   2)　モニタ設置場所   |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | | 設置場所 | 台数 | 種別 | 大きさ | 監視対象 | 備考 | | 中央制御室 | 1 | カラー | 〔　　　　〕インチ | A | 切替 | | 1 | カラー | 〔　　　　〕インチ | B | 専用 | | 1 | カラー | 〔　　　　〕インチ | C、D、E | 画面分割 | | 1 | カラー | 〔　　　　〕インチ | F | 切替 | | 1 | カラー | 〔　　　　〕インチ | G、H | 切替 | | ごみ焼却処理施設　中央制御室 | 1 | カラー | 〔　　　　〕インチ | A、B、F、G、H | 画面分割 |   (2)　計装用空気圧縮機（低騒音型）  1)　形式 〔　　　　〕  2)　数量 2基（交互運転）  3)　主要項目（1基につき）  ①吐出量 〔　　　　〕m3/min  ②吐出圧力 〔　　　　〕kPa  ③空気槽容量 〔　　　　〕m3  ④操作方式 自動、遠隔・現場手動  ⑤電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW  ⑥付属品 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### システム構成

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　オペレータコンソール  1)　形式 〔　　　　〕  2)　数量 〔　　　　〕基  3)　主要項目 〔　　　　〕  ①　中央監視盤  a）　形式 〔　　　　〕  b）　数量 〔　　　　〕基  c）　特記事項 〔　　　　〕  ②　プロセス制御ステーション  a）　形式 〔　　　　〕  b）　数量 〔　　　　〕基  c）　特記事項 〔　　　　〕  ③　プリンタ  a）　帳票プリンタ形式 〔　　　　〕  b）　メッセージプリンタ形式 〔　　　　〕  c）　カラーハードコピー機形式 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

### 雑設備

#### 雑用空気圧縮機（低騒音型）

|  |
| --- |
| ＜設計仕様＞ |
| (1)　形式 〔　　　　〕  (2)　数量 2基（交互運転）  (3)　主要項目（1基につき）  1)　吐出量 〔　　　　〕m3/min  2)　吐出圧力 〔　　　　〕kPa  3)　空気槽容量 〔　　　　〕m3  4)　操作方式 自動、遠隔・現場手動  5)　電動機 〔　　　　〕V×〔　　　　〕P×〔　　　　〕kW  6)　付属品 〔　　　　〕 |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 説明用設備

|  |
| --- |
| **＜要求水準書：施設性能基準＞** |
| * ごみ焼却処理施設説明用設備と緊密に連携させ、仕様は、ごみ焼却処理施設説明用設備記載内容を準用すること。また、ごみ焼却処理施設説明用設備との共用も可とする。 |
| ＜設計仕様＞ |
|  |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |

#### 工具・器具・備品

|  |
| --- |
| **＜要求水準書：施設性能基準＞** |
| * 保守管理、維持管理に必要なものを必要数量納入すること。 * 維持管理に必要な分析機器を納入すること。また、所要機材リスト及び仕様を提出すること。 |
| ＜設計仕様＞ |
|  |
| ＜ライフサイクルコストを低廉化するための方策＞ |
| 1）40年間使用する場合の長寿命化の方策（メンテナンス頻度、コスト等） |
|  |